

平和憲法を守り生かし、子どもたちが安全・安心の中、 生きいきと学べる学校教育、実験・実習教育をめざしましょう

「どの子にもわかりやすい実験・実習教育をめざして」ここ北海道小樽市の小樽市民センターにて開催された、全教実習教員部北海道・東北ブロック学習交流集会は、各組織の違いをこえて3組織10名が参加しました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したとはいえ、周囲で感染者が絶えず、まだまだ予断は許せぬ中ではありますが、「支えあい・助けあい・高めあう」北海道・東北ブロックの仲間たちと、集まって顔を合わせ「語りあい・学びあい・組みあう」ために、今年度も開催に至りました。本集会において、わたしたち実習教員は教育の補助職ではなく、教育の専門職として日々奮闘し、コロナ禍であった時もさまざまな工夫をしながら、子どもたちの成長を支えている様子や、日頃職場で抱えているさまざまな問題などについて交流しました。

初日には小樽市総合博物館や小樽ビール醸造所見学、小樽運河散策の中で、日本が発展してきた歴史を感じ取り、その中にも先人達の苦労が見え、失敗と反省を繰り返しながら今日に至った経緯や、製品をつくりあげる職人魂は、私たちが日頃おこなっている実験・実習においても通じるものが多くありました。

2日目にはレポート発表や各組織の状況報告、要求書項目の交流をおこない、制度改革をどのように前進させるかなど、真剣に議論が交わされました。

国会では学校教育に十分な予算も与えず、国民の反対の声を押し切って軍拡財源確保法をはじめとする悪法が成立し、今後5年間で43兆円にも上る大軍拡の財源確保をおこなおうとしています。私たちには実験・実習教育による技術や成果を、戦争のために利用させず、平和的な社会進歩に役立つものにするのが求められます。

憲法9条の改悪による「戦争する国づくり」や、憲法26条の改悪による「お国のための教育」などの憲法改悪と一体化した「教育再生」を許さず、子どもたちが安全・安心の中、一人ひとりが大切にされる教育実現のため、今集会で学んだこと、築いた絆を糧に、どの子にもゆきとどいた実験・実習教育の確立に向け、教職員・保護者・国民と共同したとりくみをすすめていきましょう。

2023年9月17日

全日本教職員組合 実習教員部 北海道・東北ブロック学習交流集会